

## カルクウォール・スイスカラー



カルクウォール



スイスカラー

## 施工前にご準備いただくもの

- ・カルクウォール ・スイスカラー ・ミネラル下地材
- ・パテ(石膏プラスター) ・ジョイントテープ
- ・攪拌機 ・コテ ・ローラー ・マスキングテープ
- ・カルクウォール・スイスカラー調色用缶

## ①施工準備

カルクウォールはスイス地方で産出する天然の石灰を主成分に、古来より住宅に使われる高品質な鉱石などで表情を立体的にした内装用塗材です。カルクウォールは数十年にわたり徐々に硬化し、強固な壁となりますが、下地が動けばクラック発生のトラブルにつながります。主な原因として下地の動き、急激な仕上げ材の乾燥があり、これらを防ぐためにも、施工要領書に従い、施工を行うことを推奨します。基本的に下地の不具合は仕上げ材でカバーはできませんのでご注意ください。

■壁紙が貼ってある部位への施工はP25の施工注意事項を参照のこと

## ②下地作り

## 【リフォームの場合】

乾燥したモルタル下地材、スタッコ、リシンの古い塗膜、コンクリート下地、土壁、漆喰等の表面を水できれいに汚れを落とし、よく乾燥させてください。この時、必要であれば、はく離しやすい部分は除去し、へこみなどは平滑に埋めておく。作業直前にミネラル下地材をマゼラーで良く攪拌し、攪拌しながらローラーで均一に塗りつけ、24時間乾燥させてください

## 【新築の場合】

窯業系無塗装ボード、又は3週間以上充分乾燥させたモルタル下地、コンクリート下地材に、攪拌機などで良く攪拌したミネラル下地材をローラー等で均一に塗りつけ、24時間乾燥させます。

## Point

- ・窯業ボードのジョイント部に変成シリコンコーキングを使用している場合、塗材の密着が低い場合があるので、変性シリコンコーキング部分にはマスキングし塗らないようにしてください。
- ・新築の場合は、アクリル強化メッシュ(ARG)を外壁前面に貼り付け、その上からモルタルで下地を作ると、ひび割れ等に非常に強くなります。
- ・入隅にはコーナーを入れひび割れ防止処置を行なう。

## 着色の場合

着色する場合はカルクウォールにスイスカラーを1-10%程度混入し着色してください。例えば、カルクウォール2.5kg+スイスカラー0.4kgを混ぜ合わせると約1%調色になります。

## ③カルクウォール下塗り



カルクウォールを攪拌機で5分間攪拌してください。コテ、又はローラーでカルクウォールを均一に薄く、しごきながら塗り広げてください。

## ④カルクウォール上塗り



コテの場合：3-5mm厚に意匠をつけながら仕上げてください。

ローラの場合：ローラーで3mm厚程度に塗り広げ仕上げとしてください。又はその上から、軽くコテで押さえ仕上げてください。約24時間で指触乾燥できます。

吹き付けの場合：リシンガンなどを使い、吹き付けますが、十分な下地作りに注意してください。また十分な養生も必要です。

## Point

1度に厚塗りは割れの原因になるので、厚塗りする場合は2度に分けて重ね塗りし、厚塗りしてください。

## 警告

施工は室内温度15度以上の条件が適しています。気温5度以下の場合には施工を中止してください。

気温が高く、乾燥しやすい条件での施工は、カルクウォールの保水性が悪く広い面積での作業が難しくなる。その場合はメローゼ45gをカルクウォール25kgに対し調合し、施工すると保水性が良くなる。